

報 告

近畿病院図書室協議会 第140回研修会（事例・研究報告会）

研修部

日 時：2017年3月17日（金）10:30～12:00

場 所：キャンパスプラザ京都2階第1会議室

プログラム：

1. 近畿病院図書室協議会共同リポジトリ
“KINTORE”構築から公開へ
藍野大学 中央図書館 増田 徹 氏
2. 図書室業務の取り組みについて
市立長浜病院 診療情報支援室 図書室
岸田 智江 氏
3. 図書室業務の中での工夫
神戸労災病院 図書室 田中 浩章 氏
4. 図書室引越顛末記・その後
— 移転から4年後の現状と課題 —
湘南藤沢徳洲会病院 医学情報センター
伊藤 友香 氏

参加者数：37名（会員35名、賛助会員2名）

1. 近畿病院図書室協議会共同リポジトリ
“KINTORE”構築から公開へ
近畿病院図書室協議会のリポジトリへの取り組みは、2012年に東京築地で行われた、第29回医学情報サービス研究大会（以下MIS）の、「DRF 主題ワークショップ：リポジトリで発信する医療情報・病院図書館との連携」のパネルディスカッションにパネラーとして参加したことがきっかけであった。
その3年半後の2016年1月に、おそらくは日本で最初の病院図書館が主体となった共同リポジトリを公開することができた。

2016年の第33回MISでの発表に備えて行ったKINTOREに参加している機関および参加していない機関へのアンケートの分析と、第29回MIS発表時に行ったアンケートとの比較を含め、KINTOREの構築から公開までの経緯を報告された。

2. 図書室業務の取り組みについて
図書室担当者による予算編成から選書・発注・受入・支払事務までの一元化された図書館管理の事例を報告された。よりよい図書館運営とは何かを考えさせられる発表であった。
3. 図書室業務の中での工夫
図書館で業務をしている中での、ちょっとした工夫などを具体的に紹介された。少しのことで積み重なると大きな改善へとつながる。まずは、改善できるかもしれないという気づきが大事であると報告された。
4. 図書室引越顛末記・その後
— 移転から4年後の現状と課題 —
2012年10月の引っ越しにまつわる顛末を第130回研修会に発表された。それから4年が経過した現在の状況と今後の課題を報告された。
図書館管理システムの導入や雑誌のオンライン化などの変化に対応された4年間だった。

（文責：井上智奈美／三菱京都病院）